



# 綿貫英彦市議が追及

## A型就労支援への援助を

障害者の一般企業などへの就労を目指す就労継続支援A型事業所について、綿貫市議は事業所まかせではなく、就労の受け皿づくりなど就職支援の担当者、経営改善の専門家など人的配置、職員の処遇改善のための財政支援に市として乗り出すよう求めました。



# 車イスの子にエレベーターを 小学校への設置拒む市教委「検討する」と答弁

4月に小学校入学予定で身体に障害があり、車イスを利用している東区在住の児童と保護者から相談が寄せられたのは昨年9月。「地元の学校に通いたい」との思いで、介助員の配置とエレベーターの設置を求めて、半年間、教育委員会と就学相談を6回重ねてきました。

ようやく地域の学校に通うことが決まったものの、通うことになった知的障害学級は校舎の2階にあるのに、介助員もつづく、エレベーターも設置されないままです。教育委員会は、介助員の代わりに学校生活支援員を配置するので問題ないとしていますが、支援員は複数の児童を支援することになっています。また、学校側が日常的に保護者に付き添いを求めていることもわかりました。

**合理的配慮に欠ける**

綿貫市議は保護者の付き添いがなくても通えるように、専属で支援することができる人的配置が必要だとし、複数の支援員や教員の加配を求めました。

エレベーターについても、合理的配慮の提供を求めた市の条例に違反すると批判し、設置を求めましたが、教育長は「検討する」と悠長な答弁を繰り返しました。

「地元の学校に通いたい」

福岡市の予算議会で、日本共産党の綿貫英彦市議が補足質疑を行いました。



わたぬき英彦  
市議会議員  
日本共産党  
東区民報  
2021年5月号  
議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037)

発行：日本共産党福岡市議団  
[www.jcp-fukuoka.jp](http://www.jcp-fukuoka.jp)  
電話 711-4734 FAX741-4627

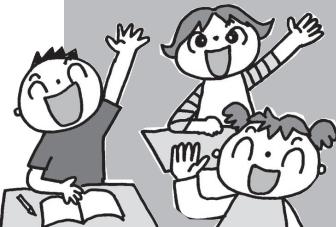
ツイッターやってます  
アカウント:watanukihide

## 特別支援学校の増設を

現在、市内には知的障害の児童・生徒が通う特別支援学校は、博多高等学園と別に4カ所があります。しかし、近年の対象となる児童・生徒数の増加に対して全く追いついていません。教育委員会は新年度高等支援学校を2校新設することによって、既存の学校に空きができるので足りるとしています。

### 教室が86も足りない！

綿貫市議は、6人で1教室という国の標準に基づいて計算すると278教室が必要となるのに、保有している教室は192教室と86教室も不足していると指摘。教育委員会が、国の標準をこえて1



クラス8人詰め込んでいる実態を突きつけ、教室が大幅に不足していることを明らかにし、特に児童・生徒増が著しい知的障害支援学校をはじめ、支援学校の抜本増を求めました。

## お困り事は 無料生活 相談を

東区オフィス 舞松原 2-17-30  
毎月第3水曜日 19~21時

和白・奈多  
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101  
毎月第3木曜日 19~21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

# 予算議会レポート 人権侵害の 校則なくせ

予算議会で日本共産党は、人権侵害の「ブラック校則」をやめるよう質問しました。

髪型や服装の細かい規定についてその必要性の根拠を教育長にただしましたが、教育長は答弁ができなくなり、何の合理性もないことが明白になりました。質疑応答の一部を紹介します。

## 答弁できない教育長

- 共産「ポニーテールやお団子、ツーブロックなどの髪型を禁じる教育上の目的は何か」
- ▲教育長「規範意識を持って健全な学生生活を営むためのもの」
- 共産党「『規範意識』というが、その客観的基準を説明せよ」
- ▲教育長「(1分間沈黙)準備ができないので答弁できない。  
……『社会規範を重視し適切な指導を行うことは極めて重要』と文科省の『生徒指導提要』にも記載されている」
- 共産党「ツーブロック、ポニーテール、お団子の髪型の生徒は『社会規範を守れない』というのか」



# 東京五輪やめコロナ対策に 集中を！ 補償拡大が実現しました

日本共産党福岡市議団は、4月28日、福岡市の高島宗一郎市長に対して、新型コロナウイルスの感染拡大の「第4波」対策に関する申入れを行いました。市庁舎内で光山裕朗副市長が応対しました。

申入れは、飲食店等への時短要請に対する県協力金について、対象以外の業種への支援を行うことや、PCR検査の抜本的拡充、変異株の全数検査、医療機関への支援、生理用品の無償配布、東京五輪の中止、学校・保育園など子ども施設の職員・子ども全員への無料の検査を求めました。副市長は「変異ウイルスの強さに驚いている。申入れの項目を含め検討し、遅滞なく対策を実施したい」と答えました。

このあと3回目の「緊急事態宣言」が福岡県に発令。市は飲食店等以外でも、売上が昨年比で3～5割減った法人・個人に最大で15万円支援すると発表し、共産党の申入れが一部実現しました。

## 予算議会レポート

# 共産党は予算組替えを提案 自民・公明などが反対

共産党は予算議会の代表質疑や総会質疑などで大型開発ものの評価を脇に置いて、一旦事業を停止してコロナ対策に予算を回すように提起しましたが、市長が

応じなかったため、予算組替え動議を提案しました。しかし、自民党・公明党などが反対（賛成は緑ネットのみ）し否決されたため、共産党は市長の原案に反対しました。



市長への申入れをする  
綿貫英彦市議(右端)、  
左は応対した副市長

# 新年度実現しました！ 共産党と市民が力あわせ

新年度予算の中で市民の切実な願いがいくつか実現しました。市民の運動などが広がり、わが党も議会で論戦してきたものです。

高齢者施設や感染流行地域へのPCR検査、緊急事態宣言下で飲食店以外の業種への支援、学生への給付金などが、不十分ですが、一定前進しました。

コロナ禍で苦境に立つ低所得の子育て世帯に対して5万円の特別給付金が支給されることになりました。

これは市政でも国政でも共産党が求め、はじめはひと

り親世帯だけだったものを運動と世論でふたり親にも拡大させたものです。

また、国保料均等割の多子世帯の負担軽減、中学卒業まで通院の医療費の助成、アスベストアナライザーの導入、コロナでの休園による代替保育サポート、ため池係の新設、幼児教育類似施設の利用料補助、南部療育センターの整備着手などが新年度予算に盛り込まれました。



電話 092 (631) 0037 (共産党地区委員会)

コロナで困つたらどう相談を